

## 総合計画市民検討協議会 第7回報告書（文化・学習 部会）

<b>記録者</b>	斎藤 麻美	<b>場所</b>	市役所北庁舎第1～3会議室	
<b>開催日時・場所</b>	平成24年 5月12日（土） 午前9時30分～正午			
<b>出席者 （12名）</b>	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	酒井 千香
	内藤 まり	松山 貴行	山内 啓司	
	大沢 直樹	國分 大樹	小柳 淳一	斎藤 麻美
	原田 賢			
<b>傍聴者</b>	なし			

### ◎ 基本構想の見直しの論点

#### 1. まちづくりの基本理念の見直しについて

<b>現計画</b>	まちづくりにあたって、市民が主体で、みんなにやさしく、安心して快適に暮らすことができるよう「人間性の尊重」を基本理念とします。【総合計画 290 ページ】
<b>見直しの視点</b>	<p>以下の視点を、まちづくりの基本理念に追加することを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「交流（絆）」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災を踏まえ、安全・安心を第一とし、世代を越えての交流、市民がお互いを知り合うこと、支え合うことのできるまちをめざす。</li> <li>・積極的な関わり合い（交流）が、絆を生み、共助の基盤となると考える。</li> </ul> </li> <li>○「協働・協創」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市が抱えるさまざまな問題を解決するために、市民と行政が協働・協創し、まちづくりを進める。</li> </ul> </li> <li>○「誇り」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、環境（施設含む）、豊かな緑、人の心など、府中市には誇りに思えるさまざまな資源があり、これらを守り生かしながら、市民が誇りに思え、住み続けたいと思えるまちをめざす。</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい、基本理念が望ましい。</li> </ul> </li> </ul>

## 2. 都市像の見直しについて

<p>現計画</p>	<p>心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち</p> <p style="text-align: right;">【総合計画 290 ページ】</p>
<p>見直しの視点</p>	<p>○見直し案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「憩えるまち、府中」 緑や文化、芸術、歴史に触れることで、子どもや若い世代を含めたすべての市民が憩えるまちをめざす。</li> <li>・「協働・協創のまち」 次世代へ豊かなまちをつなげていく、市民と行政、そして市民同士でともにまちを創り、ともに働くことをめざす。</li> </ul> <p>○その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度を高めるために、都市像の周知方法を検討する。</li> </ul>

## 3. まちづくりの主な課題

<p>見直しの視点</p>	<p>(1) コミュニティにおける参加と支えあい</p> <p>基本構想に示されているコミュニティにおける参加と支えあいについては、現在においても重要な課題であり、次期総合計画を策定するうえでも留意すべき課題であるが、新たなコミュニティの課題として、「地域におけるコミュニティ」と「目的によるコミュニティ」のそれぞれを活性化していくことが必要であると考える。</p> <p>○地域におけるコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧住民の交流や、世代間の交流のあり方を改善をする余地がある。</li> <li>・地域活動においては、自治会や消防団等の役割が重要となるが、自分からは入りにくく、声をかけにくい雰囲気があるため、声かけやあいさつがきっかけとなる。</li> <li>・人とのつながりに対し、抵抗感がある人が増えているが、災害などの対応や孤立化の防止に向け、日頃からあいさつや積極的な声かけをしていく必要がある。</li> <li>・地域活動について、「参加したい・やりたい」と思っている人が、きっかけを求めている人が多い。</li> <li>・コミュニティの高齢化が見受けられるので、若い人がもっと参加できるように工夫するべきである。</li> </ul>
---------------	---

	<p>○目的によるコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市内にある認知度が低い施設については、十分な情報を発信することにより、コミュニティの場へ参加するきっかけにつながる。</li> <li>・イベントや市民活動の活性化がコミュニティを形成するため、より多くの参加を促すために、ホームページや広報等での告知、ボランティアや実行委員などの募集を大々的に行う必要がある。</li> </ul> <p>(2) 男女共同参画社会の推進</p> <p>基本構想に示されている男女共同参画社会の推進については、講座等により啓発を行っているが、まだまだ課題が残っており、次期総合計画においても留意すべき課題であると考え。</p> <p>更なる男女共同参画社会を実現するために、現計画の内容を踏まえて、より具体的な施策を展開するとともに、市民の意識改革を進める必要がある。</p>
--	--

#### 4. 土地利用

見直しの視点	<p>土地利用の基本方針として、下記の点を踏まえた方針に見直すことを提案する。</p> <p>○みどり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的価値の高い「けやき並木」を憩いの場所として活用する。</li> <li>・農業従事者へのサポート等を行い、農地を減らさないような取組を行うことにより、「みどりの多いまち」という府中市のイメージを守ることが必要である。</li> </ul> <p>○防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災を意識したまちづくりが必要である。(都市計画等)</li> <li>・大きな防災センター、充実した防災公園等の整備が必要である。</li> </ul> <p>○再開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業を営んでいる人たちの意見を取り入れた、府中らしいまちづくりを進める必要がある。</li> <li>・市内における施設の格差を解消する必要がある。</li> </ul>
--------	---

事務局への連絡事項	特になし。
-----------	-------